

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

5年1組		指導者	池邊 恒至	教科等	算数					
	単元名等	小数のかけ算								
	目標	評価規準	← ※どちらかを選択し、 で囲ってください。							
	知識及び技能	知識・技能	○小数の乗法の意味や計算の仕方を理解し、筆算で計算することができるようになる。また、積と被乗数の大小関係や小数の乗法の計算法則について理解できるようになる。 【A(3)ア】							
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆数量の関係に着目し、整数をかける乗法をもとに、小数の乗法の意味や計算の仕方について考え、説明することができるようになる。 【A(3)イ】							
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○小数の乗法の意味や計算の仕方について、既習の計算や図を用いて考えようとしたり、桁数の多い計算などについて考えようとしたりできるようになる。							
単元の学習展開（全12時間）										
導入	<input type="checkbox"/> 小数のかけ算が必要な生活場面に出会い、単元の見通しをもつ。									
展開	<input type="checkbox"/> 整数×小数 <input type="checkbox"/> 小数×小数 <input type="checkbox"/> 積の大きさ <input type="checkbox"/> 面積の公式と小数 <input type="checkbox"/> 計算のきまり									
終末	<input type="checkbox"/> 練習問題を用いて学習を振り返る。									

本時 (5 全 12 時間)	ねらい	整数×小数の筆算について、 既習の筆算を基に類推したり10倍して10で割る計算の意味と関連付けたりすることによって、積の小数点の打ち方を説明できるようになる。 【◆思考力、判断力、表現力等 ノート記述】						
	学習過程	「めあて」と『課題』 「整数×小数の筆算のしかたを考えよう。」 『積の小数点はどこに打つとよいかな。』						
		『まとめ』と『振り返り』 『かける数を10倍したから、積を10でわって、小数点を左に1けた移すとよい。』 『かける数を10倍すると、整数の筆算と同じように計算できたね。』 『積が23.0だったら、0は消すといいね。』 『小数×小数の場合も、今日と同じように計算できるのかな。』						
	児童に対する手立ての努力を要する状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">【予想されるつまずき】</td> <td style="padding: 5px;">【必要な支援・手立て】</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">・筆算で、かける数が10の位のかけ算を右にそろえて書いている。</td> <td style="padding: 5px;">・これまでの学習を振り返らせ、筆算の計算の仕方を確かめさせる。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">・小数点以下の末位の0をそのままにしている。</td> <td style="padding: 5px;">・既習事項を確かめ、末位の0は斜め線で消すことを伝える。</td> </tr> </table>	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】	・筆算で、かける数が10の位のかけ算を右にそろえて書いている。	・これまでの学習を振り返らせ、筆算の計算の仕方を確かめさせる。	・小数点以下の末位の0をそのままにしている。	・既習事項を確かめ、末位の0は斜め線で消すことを伝える。
【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】							
・筆算で、かける数が10の位のかけ算を右にそろえて書いている。	・これまでの学習を振り返らせ、筆算の計算の仕方を確かめさせる。							
・小数点以下の末位の0をそのままにしている。	・既習事項を確かめ、末位の0は斜め線で消すことを伝える。							